		平成	19	年度	事務事	業評価シ	<b>-</b>				
No		事		島市立医師会医	- タンター语	台車業			所 属	部 保健福祉	:部
INC		事業	名物	크다고스마스스	が ピンノ 達	:古学未			所 属	課 健康増進	課
政策	政策名	_		あい支えあうま	ちづくり				課長	名 宮本 順	
体系	图 配束石	0 1	医療の						所属G(		管理G
	基本事業名	0 1		は制の整備					電話	番号	
	予算科目	会計 特別 一般	款 1 3		事業 64015 医第	事業名 病院事業 示会医療セン	<b>製</b> ター	法令 霧 根拠	島市病院事業	の設置及び管理	に関する条例
				方、手順、詳細	。期間限定複	数年度事業	は全化	体像を記述)		事業期	間
				平成12年7月にIE まな兄弟さずる24						□ 単年度のみ	
	運営を姶良郡医師会に委託する公設民営方式でスタートし、平成18年4月からは指定管理者として診療を行っている。 市としては、地方公営企業法等に定める経営に関する基本原則を竪持しながら、経営健全化を図り、経営基盤を  ▼ 単年度繰返										
強化	強化するため、霧島市立医師会医療センター運営に対して国が地方財政計画に財政措置を講じている額を一般会 🚩 データーデー 👢 👢										H 12 年度~)
計力	ら繰出している。									□ 期間限定複数	
										┗(年度	
	現状把握の部(		: 1 mr								
	事務事業の目的 手段(主な活動		標					(千番) 七日	西/東双東光のご	5動量を表す指標)	
	ナ段 (王は)白勤 <mark> 年度実績 (195</mark>		'行った'	主な活動)				/白里川1日代	<del>『(事務事業の』</del> 名称	当期里で衣り拍标)	単位
治療	を必要とする患	者への	医療の抗	是供				¬ ,= ; **			
診療ン科	(科目 内科、呼吸 大放射線科、麻酔	及器科 科、耳	、消化器 「鼻咽喉	科、循環器科、外利 科	斗、整形外科、リル	ハビリテーショ		ア病床数			床
		F度に	計画し	<mark>ている主な活動</mark>	)		$\Rightarrow$	イ診療科目	数		科目
別日	:度と同様							ウ			
3	対象(誰、何をタ	付象に	してい	るのか) * 人や	自然資源等			対象指標	票 <u>(対象の大きさな</u>	を表す指標)	324 / <del>4</del>
							$\Rightarrow$	フが象人口	名称 ](医療圏人口	)	単位人
救急	医療、高度医療	が必要	要な姶良	• 伊佐保健医療圏	l内住民		7			<i>)</i> 希望者(紹介患者数))	Ž
								ウ			
+	意図(この事業	によっ	て、対象	象をどう変えるの	<b>りか</b> )	do 7		成果指標		<mark>意図の達成度を表</mark>	
				夏医療など質の高 完治療を必要とす			$\Rightarrow$	ア外来患者	<u>名称</u> 5数		<u>単位</u> 人
	-17 ( 3X121	2,0				.,,,	7	イ入院患者			Ĵ
								ウ 救急患者			人
	<mark>結果(どんな結</mark>			<mark>tるのか)</mark> 65日の救急診療 <i>f</i>	ぶぶけこわる 声	門的か言度		上位成果	<u>指標(結果の</u> 遺 名称	成度を表す指標)	単位
	が受けられる。診				ア文リりれる。与	引引な同反	_ k	ア休日・夜間の		っている医療機関数	<u>単位</u> 箇所
				•			$\Rightarrow$			い診療科目数	科目
(0)		E A-A-		10/T ID	40 F F	20/5/5		ウ	00/F (F)	1 00 F B	
(2)	総事業費·指標 の推	詩 :移	単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)		21年度 (見込)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
$\Box$	」 国庫支出	出金	千円	(天)根/	(大順)	(元化)	$\dashv$	(FEAC)	(76K2)	(75,82)	
	別数流流	を出金	千円								
	業内 ゼル		千円	2.254.040	2 224 402	2 420 24					
投	書 訳 その作	也 	千円	3,254,018 125,933	3,324,489 118,086	3,436,91 120,96					
入 量-	事業費計	(A)	千円	3,379,951	3,442,575	3,557,87					
							$\dashv$				
	1						$\dashv$				
		ア	床	250	250	25		250	250		
	活動指標	1	科目	11	10		10	10	10	10	
		ウ ア	人	202,634	203,040	246,21	4	246,618	247,026	247,434	
	対象指標		Ì	4,895	4,471	4,60		5,100	5,150		
		イ ウ						-			
	出田七抽	ア	人	58,380	57,521	57,93		61,000	63,000		
	成果指標	<u>イ</u> ウ	人	64,034 6,526	64,983 5,678	69,94 5,70		72,200 7,100	72,500 7,300		
		ア	箇所	6	6		6	6	6	6	
1.	上位成果指標	1	科目	4	4		4	4	4	4	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

ウ

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

4

国の国立病院再編成整備計画により旧隼人町にあった国立療養所が統廃合の対象になり、地域医療を守るためどうしても必要であるということで、平成12 年7月に国から旧隼人町が譲渡を受け、管理運営を医師会に指定管理として指定している。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成15年11月地域支援病院として認定され、開放型病院として開業医・かかりつけ医の先生と連携をとり診療を行なっている。

(開放型病院とは、地域の全ての医療機関、医師の利用のために病床,設備等開放されている病院)

- この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
- ・地域の中核病院としての、診療科の充実・脳外科及び小児科の医師確保・救急医療の充実 ・今後の指定管理について

	事務事業名	霧島市立医師	会医療センター運営事	業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課	
2	評価の部(SEE) 政策体系との		『価、ただし複数年度』 見直し余地がある			結びついている	【理由】「	<del>-</del>	
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	りは市(町)の政 )?意図すること	市立医師会医療センターの機能が明確になり救急医療や高度医療の提供が効率的に行なえる						
的妥	公共関与の女	·当性	見直し余地がある	3 【理日	#1 护	妥当である【理	申」之		
当性評	なぜこの事業を市からないのか? 税金をする目的か?	或医療を守るため国から譲渡を受 は行政の役割である。							
1曲	対象・意図の多	妥当性	見直し余地がある	3 【理日	#1 🕏	適切である【理	即之		
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		姶良・伊佐保健医療圏の中における中核的な総合病院であるため						
	成果の向上余	地	向上余地がある	【理由】	<b>2</b>	向上余地がない	【理由】「	₹)	
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	小児科医師等の確保に	より、さ	らに高度な	診療等が可能になる。			
有	廃止・休止の原	成果への影響	影響無【理由】	<b>⊅</b>		影響有 【その内	容  🤣		
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		地域の中核病院を担って 特にがん治療等において				安をもたらす	<b>F.</b>	
個	類似事業との	統廃合·連携	他 他に手段がある	(具体的	りな手段,	事務事業)			
	目的を達成するには以外他に方法はないの統廃合ができるか	いか?類似事業と	統廃合できる 🥄		連携できる	る <b>へ</b> 統廃合で 統成できる病院が1箇所	きない 🕤	·	
	連携を図ることにより期待できるか?		200/木以上 C、相告なり	<b>发且</b> 及(	O'/(P#. <del>T</del>	·州リル. C G 21/41/元ル.   国力	1011.46116		
	事業費の削減	<del>ク</del> 地	他に手段がない 削減余地がある			削減余地がない	(理由)	5	
	事未見り別パ 成果を下げずに事業		別城赤地がある	(连田)	1 1	別成赤地がない	(连田)	₩	
効率	いか?(仕様や工法 の協力など)	の適正化、住民	において交付税措置され	っている	<b>,</b>	制のため削減できない。∙	一般会計力	<b>からの負担金は毎年地方財政計画</b>	
性評		業務時間)の削	削減余地がある	【理由】	<b>3</b>	削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>	
価		具を下げずにより や委託でできな	病院は国から譲渡を受け しており、現在は地方自					こ公設民営方式で管理運営を委託	
公平		用負担の適正	見直し余地がある	3 【理日	#] <b>②</b>	公平・公正である	3【理由】	<b>₽</b>	
性評価	ていて不公平ではた 負担が公平・公正に	いか?受益者 なっているか?	治療が必要な地域住民					·	
3	評価結果の総括。 1次評価者として		:(次年度計画と予算へ			N) 担当 張り返り、反省点)	課長記入	欄】	
('.	目的妥当性	適切	見直し余地あり 📥	(-) -	( HE ( 2001 - 1-1				
	有効性	適切				としての役割を担ってお 小児科医の確保に努め		・高度医療を行っている。今後は こらかい	
	効率性 公平性	適切 適切	見直し余地あり 見直し余地あり	1075年17	の元夫ド	<b>小元社区の唯体に分の</b>	(A) / 1 VICA (d	K D /GK V 10	
<	(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 廃止 休止 事業のやり方改善(有効性改善) 現状維持 目的再設定 事業統廃合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
								果持低下	
` '	) 改革、改善を実現 になし	見する上で解決 <sup>・</sup>	すべき課題(壁)とその	)解決領	Ħ.				
1									

事務事業評価シート

No.     事務事業名     夜間救急診療支援事業     所属部 保健福祉部 所属課 健康増進課											
対象   対象   対象   対象   対象   対象   対象   対象											
政策											
体系											
会計     款     項     目     事業     事業名       予算科目     一般     0     4     0     1     0     5     64090     地域医療対策費     根拠          医療法											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 事業期間											
夜間救急診療支援事業は、市民に365日の小児科・内科の夜間救急医療を提供するために行う事業である。(診療 単年度のみ											
場所)霧島市立医師会医療センター (診療時間) 月~金 20:00~23:00, 土,日,祝日 19:00~22:00											
┃(補助全交付失)於良郡医師会	40 年度 \										
	18 年度~) : <del>库</del>										
□ 期間限定接数件 □ □ 年度~	·反 年度)										
1 現状把握の部(DO)	1 (2)										
(1) 事務事業の目的と指標											
手段(主な活動) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	単位										
19年度実績(19年度に行った主な活動) 名称   名称	平111										
ア補助金額	円										
20年度計画(20年度に計画している主な活動) イ 開設日数	日										
前年度と同様。 ウ 受診した患者数(延べ)	人										
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 対象指標(対象の大きさを表す指標)											
・市民   名称	単位										
・姶良郡医師会の協力医師 <補助金交付先>姶良郡医師会											
< 補助金交列先 > 姶民都医師会	人										
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 成果指標(対象における意図の達成度を表す	台標)										
夜間に初期(一次)救急医療が受けられる。 名称	単位										
ア 受診した患者数(延べ)	人										
結果(どんな結果に結び付けるのか) 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)											
昼間だけではなく夜間においても365日の救急診療が受けられる。 名称	単位										
専門的な高度な医療が受けられる。	箇所										
診療科目がそろっている。	科目										
(2) 総事業費·指標等 単位 18年度 19年度 20年度 21年度 22年度 23年度 (日)											
切推移     (美額)   (見込)   (見込)   (見込)   (見込)   (見込)											
国庫支出金 千円   国庫支出金 千円   都道府県支出金 千円											
入											
事業費計 (A)   千円   9,071   16,000   17,651											
ア 円 9,071 16,000 17,651 17,6											
活動指標 イ 日 304 365 365 365 365 365 365 365 365 365 365											
ア 人 127,615 127,773 128,128 128,383 128,640 128,868											
対象指標 イ 人 49 49 49 49 49 49 49 49											
ウ     ス       ス     人       3,266     3,688       3,690     3,692       3,695     3,700											
ア 人 3,266 3,688 3,690 3,692 3,695 3,700											
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,											
	·										
ア 箇所 6 6 6 6 6											

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

住民から受付時間を過ぎたら診てもらえなかった。24時間対応をしてほしいという声があった。

霧島市国分土曜·休日夜間救急診療所が平成18年4月末日までで休診になったが、それに替わる夜間の初期(1次)救急医療体制を整える必要があったため平成18年6月1日から霧島市夜間救急診療事業が開始になった。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 小児科医等の確保が難しくなっており、この事業は今後も非常に大切な事業である。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

	事務事業名	夜間救急診療	支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課			
2			『価、ただし複数年度事業		Ti					
	政策体系との整	整合性	見直し余地がある【理	理事 プラ	結びついている	【理由】	<b>₽</b>			
	この事務事業の目的 策体系に結びつくか が結果に結びついて	、? 意図すること	夜間救急診療支援事業を行うことで夜間に初期(一次)救急医療が365日受けられ、また専門的な高度な医療が受けられることにつながる。							
的妥	公共関与の妥	·当性	見直し余地がある 【理	曲)之	妥当である 【理	由】				
当性評	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?		医療法第1条の3に基づき実施しており、夜間救急診療支援事業を行うことは市の重要な責務である							
仙	対象・意図の姿	妥当性	見直し余地がある【理	曲)る	適切である【理	由了				
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		市民の誰もが夜間に適切な初期救急医療を受けられるため、適切である。							
	成果の向上余	地	向上余地がある 【理日	<b>町</b> 🏂	向上余地がない	【理由】	<b>₽</b>			
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 因で成果向上		現在、深夜帯(23:00~8:00)の夜間救急診療が行われていないため体制を整えることで成果の向上余地がある。また、夜間救急診療支援事業の周知不足により利用しない患者がいることが予想される。						
有	廃止・休止の原	成果への影響	影響無【理由】 🖜		影響有 【その内	容  🖜				
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容						膏が受けられる機会を失うことにな あり、廃止・休止の影響がある。			
価	想以事未との	統廃合·連携	他 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)					
	の可能性 目的を達成するには	は、この事務事業	<b>└</b> 統廃合できる <b>う</b>	連携でき	5 5	きない 🕤	連携できない			
	以外他に方法はない の統廃合ができるか 連携を図ることにより	\か?類似事業と ・?類似事業との	他事務事業及び類似事業が		WUNDER	C-541.	ZED3 CC-6441			
	期待できるか?		他に手段がない【理由							
	事業費の削減		削減余地がある【理日	∄) <b>→</b>	削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>			
効率	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)		事業費の総額から診療報酬が	∱を差し引い	<b>\た分を補填しており、事</b>	業費の削	咸余地はない。			
性	人件費(延べ業	業務時間)の削	削減余地がある【理日	<b>∄ ⊅</b>	削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>			
価	減余地 やり方を工夫して延り減できないか?成果 正職員以外の職員もいか?(アウトソーシ	見を下げずにより や委託でできな	人件費の内容は、補助金等の	)支出等にフ	かかる必要最小限の事務	8経費であり	〕、削減の余地はない。			
公	受益機会・費用	用負担の適正	見直し余地がある【理	画プ	公平・公正である	3 【理由】	<b>₽</b>			
公平										
	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	受益者(患者)は医療においる	て必要な経	費を負担しており、適正な	は受益者負	担をしていると考えられる。			
3			(次年度計画と予算への)			課長記入	.欄)			
[(1)	1次評価者として。 目的妥当性	の評価結果 適切	(2) ≦ 見直し余地あり\	上冲総括(	振り返り、反省点)					
	有効性	適切	見直し余地あり 🔫 夜間:			除りのため帰	周知徹底する必要がある。			
	効率性	適切	ル丘の水池のケ	帯の体制が	整っていない。					
(3)	公平性   今後の事業の方[	適切 向性(改革改善	見直し余地あり 案)・・・複数選択可			( <u>4</u> )	) 改革・改善による期待成果			
<	廃止 休」 目的再設定 □ 事業統廃合・□ 改革改善案 > 深夜帯の体制が整って	事業の 事業の 事業の でいないため、今れ がある。現在、広幸	のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善) を対急医療検討委員会や姶良 最誌やインターネット、携帯サイ	(従来		(原ない)	(大)			
/E\	心苦 心美发宝理	オストで紹介。	ナベキ運頭(辟)レスの細汁	1等						
٠,			すべき課題(壁)とその解決 旦金を将来、要請する方法もあ							
		, -,		•						
1										

平成 19 年度

事務事業評価シート

						3 3/3 3 7	<b>不正              </b>						
N	)		事	務か	かりつけ医等推	<b>准事</b> 器					所 属	部 保健福祉	:部
I IN	0.		事業	名  ′′′	かりつけ医寺推	<b>烂</b>		所 属 課 健康増進課					課
		政策名	0 5	たすし	けあい支えあうま	ちづくり					課長	名 宮本 順	<del>了</del>
政		施策名			本制の充実						所属G(		
体	系	基本事業名				ドルギロ辛益	kot L						
_		<b>奉</b> 本事業石			つけ医を持つな					ı ı	電話看	番号 45-5111	
	~	答的口	会計	<del>款</del>	項目	事業	事業名			法令匠	·庆:十		
	7	算科目								根拠	療法		
車	秘里	1業の概要/	目休的	かかも	▲ り方、手順、詳細		数任度重当	비소	- 休 (	象を記述	)	事業期	問
					な生活を営むため							□ 単年度のみ	
					りつけ歯科医、かれ							二 千十皮のの	
		きをしていく。		_,								☑ 単年度繰返	
													H 10 年度~)
												,	,
												□ 期間限定複数 □ 年度	
_	h r =	ᄮᄺᄺᄼᅘ	(DO)	_						_		┗( 年度	~ 牛皮)
		状把握の部		5 <del>1</del> 西									
		務事業の目		示				]		(工新北)	西/市双市光の3	エ新旦とキナ比価)	
		段(主な活動 <mark>- 度実績(19</mark> 3		~~~た	<b>→ ナ</b> パ千番h )					/白里川1日1	<del>点(事務事業の)</del> 名称	舌動量を表す指標)	単位
		- 皮夫線(133 業の概要と同		-1] ) //	エは位劉)						` <b>□</b> 10		十四
371	ID <del>T</del>	<del>来</del> のM安CIP	יאצויני						ア	広報回数	汝		回
	- H		<del></del>	. <del></del> .		Lv		<b> </b>	1				
			牛度に	計画し	ている主な活動	J)		7					
刮,	фZ	同様。							ゥ				
									_		_		
		象(誰、何を	対象に	こしてし	1るのか) * 人や	自然資源等				対象指	票(対象の大きさ	を表す指標)	W 45-
市	天							_	_		名称		単位
								$\Rightarrow$		人口			人
									イウ				
	≖	図(この車器	£1− + -	7 to	色をじる亦うで	<b>か</b> か)			')	tt 田 tb t	亜/計会におけて	辛岡の海代府を書	= +++++=+
					<mark>象をどう変える</mark> しい医療受診の方					观未191	<del>原(対象にのける</del> 名称	意図の達成度を表	<del>₹9                                    </del>
ן כן ו	-(1)	·//·// / / / / / / / / / / / / / / / /	.V) X) <del>X</del>	EIT IST	.001区凉又的077	J/A/J'17/J'80			7	かかりつ		バる市民の割合	<u>∓⊞</u> %
								$\Rightarrow$				ている市民の割合	%
												いる市民の割合	%
	结	果(どんな結	果に約	吉7が付	けるのか)							を成度を表す指標) を成度を表す指標)	70
正					う。いつでも相談	できるかかりつけ	ナ医を持って			<u> </u>	名称		単位
613	3.								ア	かかりつ	け医を決めて	ハる市民の割合	%
								$\Rightarrow$				ている市民の割合	%
									ウ	かかりつ	け薬局を決めて	いる市民の割合	%
(2)	総	事業費·指標		単位	18年度	19年度	20年度			年度	22年度	23年度	
		の}	佳移		(実績)	(実績)	(見込)		()	見込)	(見込)	(見込)	
		財工	出金	千円							_		
	事	治 印 但 们 乐 :		千円									
	業	内一元		千円				_					
投	費	± <sub>□</sub> ~ ~ ~ ~		千円									
λ		- 万又只		千円	0	0		0					
入 量	H	事業費計	(A)		0	0		0					
								$\dashv$					
М			ア		1	1		1		1		1 1	
		活動指標	1										
			ゥ										
			ア	人	127,615	127,773	128,1	28		128,383	128,64	0 128,868	
		対象指標	1		·	·	•					·	
L	_		ウ										
			ア	%	50.9	43.0		52		54	5	6 58	
1		成果指標	1	%	50.2	45.3		45		53			
L			ウ	%	25.5	22.1		30		32	3		
			ア	%	50.9	51		52		54			
1	上	位成果指標	1	%	50.2	51		52		53			
L.		75 = NV	ウ	%	25.5	28		30		32	3	4 36	
(3)		務事業の環				110171				4. ~			
	- (	ハ黒経黒業を	を開始	したま	っかけは何か?	いつほどんか	経緯で開始	Th!	- D	ל את			

平成10年の医療法の改正により、個人を総合的に診る体制づくりが必要となり、また医療費の適正化対策の一環として重要になってきたため。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 医療法の改正により、かかりつけ医の推進は、在宅医療の推進とともに現在も行われている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

	事務事業名かかりつけ医等				保健福祉部	所属課	健康増進課		
2	2 評価の部(SEE) * 原則は事後評 政策体系との整合性		¥価、ただし複数年度事業に ▼ 見直し余地がある 【理		■ 結びついている	【理由】	<b>₽</b>		
目	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びつい	か?意図すること	かかりつけ医等推進事業を行 正しい医療受診の知識をもっ <sup>-</sup>						
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある 【理	甲」之	▼ 妥当である 【理	即力			
-	なぜこの事業を市からないのか?税金をする目的か?		医療法第1条の3及び第30条の 責務である。	03に基づ	き実施しており、かかりつ	け医等推	進事業を行うことは、市の重要な		
仙	対象・意図の	妥当性	□見直し余地がある【理	即之	☑ 適切である 【理	即之			
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		市民全体に行う事業であるため適切といえる。						
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理由	1] 🕏	□ 向上余地がない	【理由】	<b>₽</b>		
	成果を向上させる分果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	るべき水準との差 原因で成果向上	市民に対して広報等の機会を増やすことがさらに成果の向上につながると考えられる。						
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無【理由】		▼ 影響有 【その内	容] 🞝			
効性評	響の有無とその内容		市民がかかりつけ医をもつこと 増大につながる可能性がある。		等を知らないことで不適†	切な医療受	受診が増え、その結果、医療費の		
価	類似事業とのの可能性	統廃合·連携	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)				
	目的を達成するには 以外他に方法はない との統廃合ができる	いか?類似事業か?類似事業と	□ 統廃合できる ラ □ 他事務事業及び類似事業がな		3 🕤 🥅 統廃合で	きない 🕤	□連携できない		
	の連携を図ることに が期待できるか?	より、成果の向上		. 1					
	事業費の削減	<b>法</b> 地	□削減余地がある【理由	_	▼ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>		
効率	成果を下げずに事事ないか?(仕様や工民の協力など)		必要最低限の事業費で実施し	ているので	で、削減の余地はない。				
性	人件費(延べ) 減余地	業務時間)の削	□ 削減余地がある 【理由	1] 🕏	☑ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>		
	やり方を工夫して延減できないか?成界 正職員以外の職員 いか?(アウトソーシ	果を下げずにより や委託でできな	最小限の人件費で実施してい	るので、削	減余地はない。				
公平	受益機会·費戶 化余地	用負担の適正	□見直し余地がある【理	甲】之	☑ 公平・公正である	3 【理由】	<b>₽</b>		
性評	事業の内容が一部 ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	ないか?受益者	全市民が対象であり、公平であ	5 8.					
3			   (次年度計画と予算への反			課長記入	(欄)		
(1)	1次評価者として 目的妥当性	- >+-1-	(2) 全 ■ 見直し余地あり <u>→</u>	体総括(打	振り返り、反省点)				
	有効性	適切	▼ 見直し余地あり → 広報に	よる啓発を	を強化することで成果の	向上が図れ	าล.		
	効率性 公平性	<ul><li>✓ 適切</li><li>✓ 適切</li></ul>	<ul><li>□ 見直し余地あり</li><li>□ 見直し余地あり</li></ul>				•		
(3)	今後の事業の方 廃止		改革・改善による期待成果						
ポン		、ホームページ、	Dやり方改善(公平性改善) 携帯サイト等を利用し、周知する				が、削減 維持 増加 向上 成維 果 低 下		
(5)	改革、改善を実現	見する上で解決	すべき課題(壁)とその解決	策					

	平成 19 年度 事務事業評価シ	<b>-</b>						
No.	事務 国保療養諸費支給事務事業				属部	生活環境		
	5 211			所 課	属	保険年金 川﨑秀一	H-11-	
政策	政策名 0 5 たすけあい支えあうまちづくり							
体系	施策名 0 1 医療体制の充実							
	基本事業名 0 3 保険制度の適切な運営			電影	岳番号	45-5111		
	会計   款   項   目   事業   事業名   特別   0   2   0   1   0   1   206010   一般被保険者援   特別   0   2   0   1   0   2   207010   退職被保険者援	養給作 養給作	力費	依拠	法 2条		条 45条 54条	
	事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業				ļ	事業期	間	
	市の国民健康保険被保険者が、保険医療機関等(柔道整復も含む)で受		かっ	た医療費について、霧		単年度のみ		
世帯 ·霧島 ·保隆 ·資村	D負担分を支払事務を委託している鹿児島県国民健康保険団体連合会に 時主の申請によって食事代差額、保険者負担分(7割・8割・9割)を支給する 島市の国民健康保険被保険者が窓口で負担した食事代と本来負担すべき 検証が提示できず保険医療機関等で10割負担した場合 各者証を提示して保険医療機関等で10割負担した場合 師の指示で治療装具(コルセット等)を購入した場合 など	場合は	以下とで記	のとおり。 差額が生じた場合		単年度繰返 ┗→ ( 明間限定複数 年度		
	状把握の部(DO)							
	務事業の目的と指標	7		江手1七十五/市20市光	の江手も目	<b>+                                   </b>		
	段(主な活動) F度実績(19年度に行った主な活動)			<mark>活動指標(事務事業</mark> 名科		[を衣り拍標]	単位	
鹿児	F及美韻(1946)に1776年は7月到)  島県国民健康保険団体連合会から送られてくる明細書に基づき、県連合			7217	1		<b>平</b> 位	
会に保	R険者負担分を支払う。各総合支所で受け付けた申請書に基づき、月に1g	]	ア	療養給付費等			千円	
	曜(食事代差額)、第3木曜(療養費)を支給する。	\ \						
20年	F度計画(20年度に計画している主な活動)		1	療養費			千円	
	F皮引囲(20千皮に引囲している土な冶勁) まと同様。	,						
153 175	2013 1000		ウ	食事代差額			千円	
	象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等			対象指標(対象の大き		指標)		
	5国保被保険者 5.00国只没有保险特别的表现在美典大公内结束结束。			<u>名称</u>			単位	
霧島市	5の国民健康保険被保険者で療養費支給申請された人。			被保険者数			人	
				療養費申請件数	<del>К</del> Ь		件件	
			ウ 食事代差額申請件数 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
ᇁ	図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		.)			の法式中さま		

意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 被保険者(国民健康保険資格証明書以外の方)は、保険医療機関等で一部負

担金(1割・2割・3割)を支払うだけで医療が受けられる。または、一旦全額負担した場合でも、申請によって保険者負担分を支給すること で被保険者の負担を軽くする。

で被保険者の負担を軽くする。								ウ食事代差	額支給件数		件
幺	吉果(どんな	結果に	結び付け	tるのか)					指標(結果の達成	以度を表す指標)	11
	いして必要な								名称		単位
							_	ア国民健康化	呆険の被保険者一	人当りの医療費	Ħ
							ightharpoonup	1			
								ウ			
(2) \$	総事業費·扌	旨標等	単位	18年度	19年度	20年度		21年度	22年度	23年度	
		の推移		(実績)	(実績)	(見込)		(見込)	(見込)	(見込)	
	財国庫	支出金	千円	910,217	2,352,495	2,400,681					
-	<b>■ 活 都</b> 理的	見支出金		332,858	450,239	726,454					
불	当为 地	方債	千円								
投掌		の他	千円	1,890,465	2,841,483	3,519,486					
λ	19	段財源	千円	4,644,729	2,160,405	1,780,297	_				
量	事業費	<u>計 (A)</u>	千円	7,778,269	7,804,622	8,426,918					
-											
Щ											
		7		7,774,221	8,046,582	8,406,445		8,500,000	8,800,000	9,000,000	
	活動指標		千円	19,222	18,687	19,523		20,000	21,000	22,000	
		Ċ		443	910	950		950	950	950	
	\	<b>ブ</b>		46,672	45,266	32,355		32,000	32,000	32,000	
	対象指標		件	810	880	950		950	950	950	
		<u> </u>		160	190	220		200	200	200	
	成果指標		千円	7,774,221	8,046,582	8,406,445		8,500,000	8,800,000	9,000,000	
			件	810	880	950	_	20,000	21,000	22,000	
		7		160	190	220	_	950	950	950	
l ,		<u>,</u>		270,054	323,159	297,733		312,619	328,249	344,661	
] _	上位成果指										
(a) =	1数重業の	四块亦		÷ = ~							

単位

千円 <u>件</u>件

名称

ア 療養給付費等 イ 療養費支給件数

## (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

不時の出来事に備えて誰もが安心して医療が受けられるために国民健康保険制度ができ、被保険者の疾病・負傷、その他保険医が認めるもの(あんま、鍼 灸、マッサージ、治療装具)に対して保険給付を行うとしている。昭和33年に事業開始。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 高齢化社会になり、医療費が年々伸びてきている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。

	事務事業名	国保療養諸費	支給事務事業	所属部	生活環境部	所属課	保険年金課		
2	評価の部(SEE) 政策体系との整		一個、ただし複数年度事業に			(TELCH)			
	の事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついった。	りは市(町)の政 )? 意図すること	□ 見直し余地がある 【理 被保険者(国民健康保険資格 けで医療が受けられるので、編	証明書以夕			『負担金(1割・2割・3割)を支払うだ		
的妥	ハ井間トの立		█ 見直し余地がある 【理	!曲】 🖜	▼ 妥当である【理	曲】			
当性			国民健康保険法に定められて	いるため、	妥当である。	·			
仙	対象・意図の多	妥当性	■見直し余地がある【理	!曲】 🕏	□ 適切である 【理	曲】			
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		各々が加入している保険で療養の給付を受けられるので、適切である。						
	成果の向上余	:地	■ 向上余地がある 【理由	<u> </u>	▼ 向上余地がない	【理由】	<b>₽</b>		
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	国保被保険者からの申請に対して支給をしているので向上の余地はない。						
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無 【理由】 5		▼ 影響有 【その内	容】 🖜			
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		事務を廃止・休止した場合、国	保被保険	<b>省が医療費を全額自己</b> 負	担するこ	とになる。		
価	担以手来という	統廃合·連携	他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)				
	の可能性 目的を達成するには	は、この事務事業	└──     統廃合できる <b>つ</b>	連携できる	5 5	きないって	■連携できない 🕤		
	以外他に方法はない の統廃合ができるか 連携を図ることにより	ハか?類似事業と ハ?類似事業との			•				
	期待できるか?	: <b>△</b> ↓	▼他に手段がない【理由		三 当は合せがたし	/m+1	_		
	事業費の削減		■ 削減余地がある 【理由	1) J	▼ 削減余地がない	【理田】	<b>-</b> 3 <b>)</b>		
効率	の協力など)		医療費が下がらない限り、削除	余地はない	١,				
性評	人件費(延べ) 減余地	業務時間)の削	□ 削減余地がある 【理由		☑ 削減余地がない	【理由】	Ð		
-	やり方を工夫して延減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	見を下げずにより や委託でできな	各総合支所で受付けしたもの  はない。	はそれぞれ	で入力を行なっており、;	また勤務問	<b>時間内で済んでいるので削減余地</b>		
公正	受益機会·費戶 化余地	用負担の適正	□見直し余地がある【理	曲) 🥏	☑ 公平・公正である	【理由】	<b>₽</b>		
		いか?受益者	国保法に定めに基づき事務を	行なってい	るので公平・公正である。	,			
3	評価結果の総括	と今後の方向性	- :(次年度計画と予算への反	映)(PLAI	N) 【担当i	課長記入	.欄)		
(1)	1次評価者として 目的妥当性			,	辰り返り、反省点)				
	有効性						関等(柔道整復も含む)で受診して 連合会や被保険者に適切に支払		
	効率性		□ 見直し余地あり われた	Ξ.					
(3)	公平性 今後の事業の方	<ul><li>✓ 適切</li><li>向性(改革改善</li></ul>	□ 見直し余地あり   案)・・・複数選択可			(4)	) 改革・改善による期待成果		
	□ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合·連打改革改善案 >	□ 事業 <i>0</i> ■ 事業 <i>0</i>	次)やり方改善(有効性改善) )やり方改善(効率性改善) )やり方改善(公平性改善)	<b>▽</b> 現 <sup>3</sup> (従来)	状維持 通りで特に改革改善をし	(月	<ul><li>経止・休止の場合は記入不要)</li><li>コスト</li><li>削減 維持 増加</li><li>向上</li><li>成維</li><li>果持</li></ul>		
							低下		
(5)	改革、改善を実現	見する上で解決	すべき課題(壁)とその解決	策		<u> </u>			